



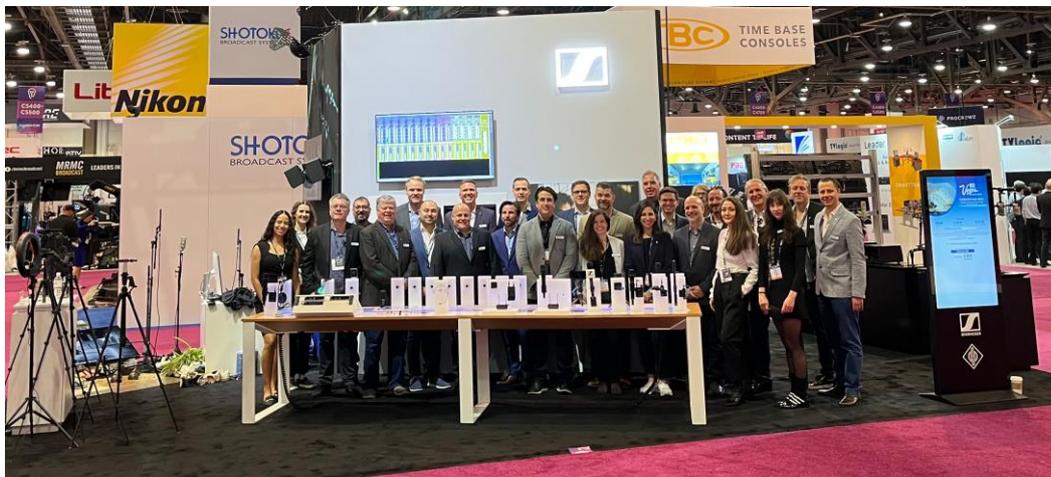
ゼンハイザーグループ、2024 NAB Show に出展

ゼンハイザー、Neumann、Dear Reality、Merging Technologies など、配信、スタジオ、ライブオーディオのためのあらゆるニーズに応える最新のオーディオソリューションを展示

2024 年 4 月 12 日

ゼンハイザー ジャパン株式会社

(本資料は、米国 2024 年 4 月 4 日に発表されたプレスリリースの抄訳です)



ゼンハイザーグループは、米国ラスベガスにて 4 月 13 日～17 日（米国時間）に開催する「2024 NAB Show」に出展（展示ブース：Central Hall ブース 4732/デモルーム：N204LMR）します。展示ブースでは、展示する全てのマイクとヘッドセットを手にとって実際に体験いただける、ブランドの全てを集約したスペースをご用意いたします。

Neumann のスタジオマイクロホンクラシックやゼンハイザーの MKH 8000 RF コンデンサーマイクロホンシリーズから、Merging Technologies の Anubis や Hapi、さらにゼンハイザーグループのすべてのプロ用ヘッドホンシリーズにいたる、リッチなサウンドに浸ることのできる絶好の機会となります。主な展示内容は以下となります。

主な展示内容

ゼンハイザー MKH 8030 RF コンデンサーマイクロホンと MKH 8000 シリーズ用アクセサリ

待望の MKH 8030 フィギュアオブエイト RF コンデンサーマイクロホンは、録音のプロフェッショナルのための MS、ダブル MS、ブルームライン（Blumlein）といったステレオ録音方式の可能性を広げます。MKH 8030 のサウンド特性は、他の MKH 8000 シリーズマイクロホンのサウンドと違和感なく調和するよう、入念に開発を行いました。MKH 8030 は、サウンドを除去する必要のある PA システム、または拾ってほしくない



隣の楽器の音など、付近の音源を最大限に低減することが必要な場合の優れた選択肢にもなります。MKH 8000 シリーズマイクロホンでは、特殊な RF コンデンサー原理と左右対称のカプセル設計により、このシリーズでしか得られない、以下のような優位性の組み合わせを実現しています。劣悪な気象条件下における耐久性やワイドな周波数応答、低セルフノイズ、そしてオフアキスによる色づけない、自然で明瞭な音像と組み合わせられた驚異的な感度を実現します。



（写真左側）ゼンハイザー MKH 8000 シリーズは、オーケストラピットから極めて厳しい気象環境におけるフィールド録音にいたるまで、きわめて多岐に渡る録音状況で安心してお使いいただけます（フィヨルドの写真、提供：Thomas Rex Beverly）

（写真右側）「Sound in Dubai」の Simon Charles が MKH 8030 を使用し MS ステレオ録音を行っている様子。Simon は、サウンド制作に 20 年を超えるキャリアがあり、ショートフィルム、特集番組、テレビシリーズ、ドキュメンタリー、コマーシャル、企業制作物など、幅広いプロジェクトをこなしてきました（写真提供：Zeus Mehri）



MKH のフルラインアップに加え、新しいアクセサリも展示します。MKH 8030 の左右の向きを確保するため、本シリーズの MZE 延長チューブには回転式ヘッドが取り付けられています。MZGE 8000 チューブアダプターが改良され、さらに堅牢な設計となりました。アクセサリの新しいラインアップとして登場する MZH 8042 グースネックは、MKH 8040 などの MKH マイクロホンを演台に接続する際に卓越した音声品質を実現します。

MKH 8030 および新しいアクセサリは、2024 年 5 月に発売予定（日本での発売は未定）です。MKH 8030 の詳細は [こちら](#) をご覧ください。



グレードアップした、最新の配信用ヘッドセットラインアップ

2024 NAB Show において、ゼンハイザーはグレードアップした、最新の配信用ヘッドセットラインアップを展示します。発売は 2024 年 7 月 1 日（日本での発売は未定）となっています。適切なヘッドセットを簡単かつ明快地に選択できるよう、改良されたヘッドセットモデルに個別に用意される 5 種類のケーブルを選び、組み合わせることができるようになりました。

軽量の、**オープン型 HMD 46**（ダイナミックマイク）と **HME 46**（エレクトレットマイク）ヘッドセットはインカム用途に最適で、会話の明瞭度が向上しています。

密閉型・スーパードラッグ型 HMD 26（ダイナミックマイク）と **HME 26**（エレクトレットマイク）ヘッドセットは、屋外での放送用途に最適で、新たにオン/オフ式の ActiveGard（オフ/95dB/110dB）が搭載されます。ゼンハイザーの ActiveGard は、従来方式の衝撃音クリッピング回路とは異なる追加安全機能で、音声信号を遮断することなく突然の大音響から装着するユーザーの聴覚を保護します。いずれのモデルも、片耳タイプの HMD 26 S と HME 26 S が用意されています。

密閉型・サーカムオーラル型の最高峰シリーズ、HMD 27 と HME 27 は、大騒音環境におけるトップレベルのモニター精度と装着するユーザーの圧倒的な快適性を実現します。これらのモデルにも、新たにオン/オフ式の ActiveGard（オフ/95dB/110dB）が搭載されます。**HMDC 27** には、NoiseGard（アクティブノイズリダクション）が追加搭載されています。

最後にご紹介するのは、バックステージ通信用の**密閉型・サーカムオーラル型 HMD 300 ActiveGard** ヘッドセットです。新しいダイナミックブームマイクとアームが装備されており、性能が向上しています。片耳モデル（HMD 300 S）とコストパフォーマンスに優れた HMD 300 X3K1（XLR-3/1/4”ジャックのプラグケーブル同梱）も用意されています。

HMD 300 X3K1 を除き、すべてのヘッドセットは、XLR-3 / 1/4”ジャック、XLR-4F および XLR-5 M ケーブル、または終端処理なしのケーブル（シングルおよびツイン）と組み合わせる必要があります。HME ヘッドセットは、ファンタム電源専用で動作するように設計されています。



グレードアップした最新のゼンハイザー放送用ヘッドセットラインアップ。（写真：左から右へ）オープン型 HME 46、密閉型・スーパードラッグ型 HMD 26、密閉型・サーカムオーラル型 HMDC 27（NoiseGard アクティブノイズリダクション装備）、密閉型・サーカムオーラル型 HMD 300 X3K1（XLR-3/1/4”ジャックプラグケーブル同梱）



Neumann MT 48、イマーシブ対応オーディオインターフェースに

コンテンツ制作用 Music Mission と最新機能の Monitor Mission を搭載した、Neumann のリファレンスクラス、オーディオインターフェース MT 48 を展示します。Monitor Mission 機能により、MT 48 を、自由に設定可能なモニターコントローラーやステレオ、サラウンド、イマーシブ方式用オーディオインターフェースとして使用できます。MT 48 は、Neumann の KH シリーズスタジオモニターや NDH 20 クローズドバックおよび NDH30 オープンバックヘッドホンのデモに使用もできます。



また、Neumann は、ラジオ、ポッドキャスト、ライブストリーミングのニーズに応えるべく専用設計された、定評ある放送用マイクロホンの BCM 104 と BCM 705 も展示します。また、U 87 Ai および TLM 103 などの Neumann のスタジオクラシックからの製品や、KMR 81 および KMR 82 ショットガンマイクロホンも展示します。





ゼンハイザーグループブースの Merging Technologies

展示ブースには Merging Technologies の製品も展示します。ゼンハイザーグループと完全に経営統合した、スイスのトップレベルのデジタルオーディオ録音システムメーカーである Merging Technologies の販売部門は、オーディオテクノロジーと AoIP ソリューションの革新的なラインアップを展示します。Anubis と Hapi のハードウェアのフルラインアップ、そして Ovation メディアサーバーや Pyramix ソフトウェアも展示します。また、Merging Technologies では、最も長く Merging の代表取締役を務めている中の 1 人である Dennis Gaines が担当するデモをいくつか予定しています。

Dear Reality による最新の空間オーディオソフトウェアソリューション

空間オーディオテクノロジーのパイオニア、Dear Reality は、業界最高水準の dearVR PRO 空間オーディオプラグインの後継となる dearVR PRO 2 を展示します。dearVR PRO 2 により、オーディオエンジニアとミュージシャンがイマーシブオーディオを簡単に制作できます。dearVR PRO 2 は、ステレオ入力コントロール、OSC ヘッドトラッカーサポート、拡張された Pro Tools 互換性などの革新的な機能により、空間的にリッチで感性に訴えかけるような 3D オーディオによる音の広がりを創り出すための新たなベンチマークとなります。展示ブース来場者は、リアルなアーリーリフレクション、46 のバーチャルアコースティックプリセット、そしてマルチチャンネルスピーカーフォーマットの幅広いサポートなど、dearVR PRO 2 の魅力的な新機能をその場で実際に体験できます。

Dear Reality は、dearVR PRO スペシャライザーの後継バージョンを展示。dearVR PRO 2 では、ステレオ入力や新しいイマーシブな Pro Tools フォーマットへのユーザーアクセス、アーリーリフレクションやレイトリバンプ用の新しいハイパス/ローパスフィルター、OSC ヘッドトラッカーのサポートが追加



また、高品質ミキシングスタジオにおけるマルチチャンネルスピーカーのセットアップをステレオヘッドホンでシミュレートする、dearVR MONITOR プラグインも展示します。このプラグインは、ヘッドホンによるモニター作業の分析的な優位性と完璧に調整された室内におけるミキシングの知覚を組み合わせることで、あらゆる環境における信頼性の高いミックス作業をおこなうことができるようにするものです。



また、ステレオミキシングのための製品も展示します。Dear Reality は、ゼンハイザーヘッドホンのために専用開発したステレオミキシングソリューション、dearVR MIX-SEに加え、ステレオリバーブプラグインの EXOVERB のデモも行います。このプラグインは、リバーブ、アーリーリフレクション、ドライシグナルの完璧な組み合わせを創り出す際の、圧倒的にリアルなサウンド品質と革新的で直感的なコントロールを実現します。いずれのプラグインも、ステレオミキシングをかつてないイマーシブなレベルへと高められるように設計されています。



EXOVERB ステレオリバーブプラグインは、リバーブ、アーリーリフレクション、ドライシグナルの完璧な組み合わせを創り出すための、革新的な「トライアングルコントロール」が特長です。

ゼンハイザーブランドについて

オーディオと共に生きるゼンハイザー。世の中を変えるオーディオ製品を作りだすことに情熱を捧げ、オーディオの未来と素晴らしいサウンド体験を築く。これこそが 75 年以上もの歳月、変わらずに掲げてきたゼンハイザーの意義です。Sennheiser electronic SE & Co. KG はマイク、会議システム、ストリーミング技術、モニタリングシステムなどの様々なプロオーディオ事業を展開しながら、ヘッドホン・イヤホン、サウンドバー、スピーチ-エンハンスヒアラブルデバイスなどの一般消費者向け事業を Sonova Holding AG へのブランドライセンス事業で展開しています。

www.sennheiser.com

www.sennheiser-hearing.com



■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社 広報担当
株式会社プレインズ・カンパニー
担当：中村・西田・坂川・齋藤
TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp